

加熱処理で安全・安心！ 新生子牛への初乳給与

● 初乳は子牛の宝物

健康な子牛の育成には、生後2日間の『初乳』給与が重要なことは言うまでもありません。

● 初乳が危ない

母牛からもらうすべての初乳が安全とはかぎりません。表1に示すようにヨーネ病に罹った母牛の初乳の22.2%からヨーネ菌が分離されています。また牛白血病は16.3～27%が初乳を介し感染しているとの報告があり、さらにサルモネラ菌や牛ウイルス性下痢・粘膜病ウイルスなども初乳を介して感染する可能性があることが報告されています。

表1 感染母牛の初乳及び乳汁中からのヨーネ菌の分離

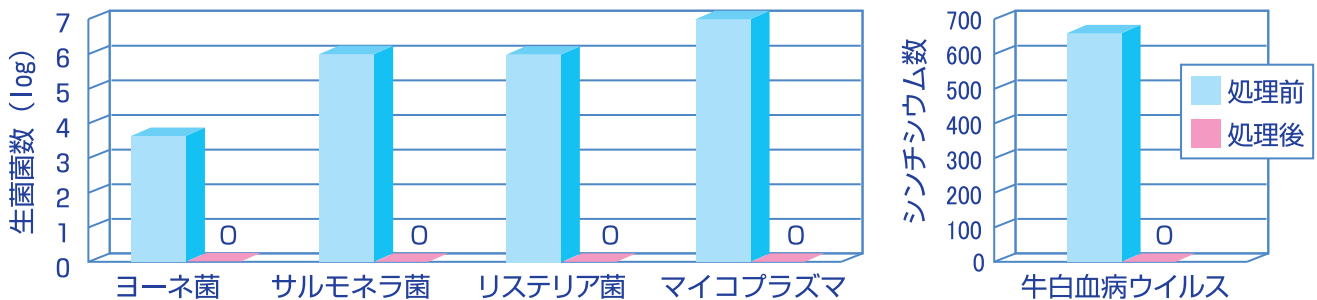
	菌分離頭数	分離割合
初乳	8/36頭	22.2% (6.3%)
乳汁	3/36頭	8.3% (2.4%)

()は検査牛群に対する割合
(Robert, Nら, 1995 Am. J. Vet. Med.より一部変更)

● 加温処理による病原体の不活化

加熱前と加熱後の病原体の数を比較しました。初乳の加熱処理により、病原体が不活化しているのが分かります。(図1)

図1 60℃、30分の加温処理による病原体の不活化



● 加熱処理による初乳成分の変化

初乳を加熱しても重要な成分は変化しませんでした。免疫グロブリン濃度や栄養成分も変化がないことが確認されました。(表2)

表2 60℃、30分の加温による初乳成分の変化

区分	初乳組成 (%)			免疫グロブリン濃度 (mg/mL)		ビタミンA (μg/dL)
	タンパク質	脂肪	乳糖	IgG	IgA	
未処理群	14.4	6.4	0.53	66.0	7.4	786.0
加熱処理群	14.5	6.5	0.57	66.0	7.4	779.4

(図1、表2は、中岡ら、第52回北海道家畜保健衛生所業績発表集録より引用)

● 安全な初乳を安心して与えましょう。

安全な初乳を子牛に与えるには加熱することが必要です。初乳加温器『ミーサン』は、加熱による初乳成分の変化は起こさず、初乳中に混入の可能性がある病原体の不活化を実現しました!! これにより安全な初乳を安心して与えることができるようになります。

初乳加温器「ミーサン」KS-10

- 仕様
- *設定温度 60℃(デジタル設定、デジタル表示)
- *バケツ 10L 目盛付 ステンレス製
- *バケツ用攪拌モーター
- *設定温度到達30分後ヒーターOFF 終了ランプ点灯
- *水槽 (PP製) 外形寸法 D480×W360×H380 mm
- *電源 AC100V 50/60HZ 14A
- *重量 12Kg
- *保証書 (保証期間1年)